



りそな銀行アジアニュース

平成 21 年 9 月 2 日
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【バンコック駐在員事務所】

「2009年第2・四半期のタイ経済動向について」

タイ国家経済社会開発庁(NESDB)は2009年第2・四半期(4~6月)の実質国内総生産(GDP)成長率(速報値)を昨年同期比マイナス4.9%と発表しました。3四半期連続のマイナスとなったものの、第1・四半期のマイナス7.1%からは2.2%改善しました。政府部門の投資拡大・輸出増等を背景に5四半期ぶりの改善となりました。

部門別にみると、農林水産部門はコメ等の主要農作物の減産を受けマイナス2.7%に落ち込みました。非農林水産部門は第1・四半期のマイナス8.1%からマイナス5.0%に改善しました。中でも製造業においてハードディスクドライブや石油製品等一部の工業製品の生産が上向いてきたことが寄与しています。建設業は、民間・政府部門の建設が加速しており、2.5%のプラス成長に転じました。金融でも融資額増加を背景に5.6%伸びました。

貿易においては、輸出額で前年同期比マイナス20.7%と大幅減ですが、季節調整後の前四半期比では1.4%の増加となりました。製品別に見ると、エレクトロニクス製品はマイナス32.4%からマイナス21.2%へ、電化製品はマイナス30.4%からマイナス20.6%へと、それぞれ著しく改善しました。輸入は前年同期比27.3%減少となっています。

為替相場は、今年第2・四半期の対米ドル・バーツの平均が1米ドル=34.7バーツとなり前四半期の35.3バーツよりドル安バーツ高となりました。

内需については、投資では、民間部門が小幅改善しましたが、公共部門が前四半期のマイナス9.1%からプラス9.6%と急回復した結果、減少率は前四半期から縮小しマイナス10.1%となりました。個人消費では、政府の景気刺激策の成果および物価の下落等があった一方、タイ国内の政治の不安定、新型インフルエンザの流行等を理由に前四半期とほぼ同水準でマイナス2.3%にとどまりました。政府支出は引き続きプラス成長を確保しており5.9%となりました。

NESDBによると、下半期のタイ経済は政府部門の消費・投資の拡大や世界経済の回復によるタイの輸出好転等が続き、今年第4・四半期からプラス成長に転じると見込まれています。しかし、輸出、民間消費と投資が大幅に収縮した上半期の情勢を考慮すると、今年通年のGDP伸び率予測はマイナス3.5%~マイナス3.0%とされています。

【部門別産業別GDP伸び率】

(前年同期比増減%、速報値)

	2008年	2008年				2009年		2009年
	通年	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	第1・四半期	第2・四半期	上半期
農林水産部門	5.0	3.1	8.6	9.6	1.6	3.4	▲2.7	0.5
非農林水産業部門	2.4	6.2	5.0	3.5	▲4.9	▲8.1	▲5.0	▲6.6
製造業	3.9	9.5	7.7	6.1	▲6.7	▲14.4	▲8.4	▲11.4
建設業	▲4.7	1.1	▲3.4	▲4.5	▲12.8	▲7.9	2.5	▲2.7
ホテル・レストラン業	1.6	9.2	5.9	0.3	▲7.7	▲6.0	▲5.6	▲5.8
運輸・通信業	▲0.4	5.4	3.6	1.5	▲10.6	▲6.5	▲7.6	▲7.1
金融	8.1	10.2	8.8	8.0	5.5	4.0	5.6	4.8
国内総生産(GDP)	2.6	6.0	5.3	3.9	▲4.2	▲7.1	▲4.9	▲6.0

【出所: NESDB】

照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京) 電話 03-5223-6672
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。

* 禁無断転載